

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2201162	消費者問題 Consumerism	早川 周	専門	2	選択	4年 前期

科目の概要

本科目は、消費者問題、コンシューマリズムに関わる基本的事項、知識を学ぶ。消費者問題は誰もが生活していく上で、関係をもたざるをえない問題で、大変、身近な問題と言える。受講生が将来、生活者、企業人、教師等の進路において、役立つ消費者問題の基礎知識を獲得することが期待される。

学修内容	到達目標
① 消費者問題に関わる基本的事項、知識を概説する。	① 学んだ知識を生かし、日常の消費者問題を理解することができる。
② 日々の消費者問題の報道を紹介し、経済学の考え方でどのように関連性があるかを説明する。	② 日々、報道される消費者問題に関心を持ち、受講生各自が消費者としての自覚を高める。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	この科目を履修して、消費者問題を理解しようとする気持ちを持つと同時に、シラバス、テキスト、印刷教材を読み、自分の生活の中の消費者問題に心を持つ。
	働きかけ力	
	実行力	新聞、テレビ、インターネットなどの消費者問題に関連する記事、番組、情報を毎日、見たり、読んだりする。
考え抜く力	課題発見力	消費者問題がどのような原因で発生しているか、自分自身の問題として考えてみる。
	計画力	
	創造力	消費者問題の原因、対策を自分なりに考えてみるができる。
チームで働く力	発信力	授業の毎回の振り返りシートに自分の意見を書く。 教員からの発問に自分の意見を言うことができる。
	傾聴力	教員の講義、他の学生の発言に耳を傾け、どういうことを言っているか、自分自身の意見との異同を考える。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	授業 5 回の実施に対して、3 回以上欠席した場合、授業を 3 回連続で欠席した場合、オフィスアワー(授業の前後に設ける予定)に講師控室(ないし図書館2F)に来て、補習、指導を受ける。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト: 神山、中村、細川(編著)『新しい消費者教育』(慶応義塾大学出版会、2016)、1,800 円(税抜き)
参考文献: 国民生活センター(編)『くらしの豆知識』(国民生活センター各年)

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連: マーケティングと関連性が深い、その他家政学関係科目とも関連性がある。
家庭科教員をめざす学生は受講してほしい。

学修上の助言	受講生とのルール
① 講義形式を中心とするが、受講生の参加(授業中の発言、振り返りシートの記入)を求め、評価に反映する。 ② 授業で学んだことを基に、自分の周り(新聞、テレビ、インターネット等含む)にある経済の動きを観察し、自分なりに考えてみるようにする。	① 授業で配布する資料は原則、受講生の人数分のみを用意するので、保管には十分、注意する。 ② 欠席はやむをえない場合以外はしないようにする。また、連続して欠席をしないようにする(実習と重なる場合は相談に応じるので事前に申し出ること)。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
小テスト	20	①	✓ ① 要点・用語試験(20点) ・授業の要点、授業で出てきたキーワードについて、その意味を理解しているどうかを評価する。
レポート	70	①	✓ ① 製品の表示レポート(20点、6,400字)
		②	✓ ② 消費生活レポート(50点、6,400字) 製品の表示および自分の関心のあるテーマについて、調べ、自分自身の消費生活を省みるレポートを作成する。
成果発表 (口頭・実技)		①	
作品		①	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓ (主体性) ・この科目を履修して、「消費者問題」を理解しようとする気持ちを持つと同時に、シラバス、テキスト、印刷教材を読み、自分の生活の中の消費者問題に心を持つ。 (実行力) ・新聞、テレビ、インターネットなどの消費者問題に関連する記事、番組、情報を毎日、見たり、読んだりする。 (課題発見力) ・消費者問題がどのような原因で発生しているか、自分自身の問題として考えてみる。 (創造力) ・消費者問題の原因、対策を自分なりに考えてみるができる。 (発信力) ・授業の毎回の振り返りシートに自分の意見を書く。 ・教員からの発問に自分の意見を言うことができる。 (傾聴力) ・教員の講義、他の学生の発言に耳を傾け、どういうことを言っているか、自分自身の意見との異同を考える。 (規律性) ・授業5回の実施に対して、3回以上欠席した場合、授業を3回連続で欠席した場合、オフィスアワー(授業の前後に設ける予定)に講師控室などに来て、補習、指導を受ける。
その他		①	
総合評価 割合	100		小テスト、レポート、学修態度の成績を総合して評価する。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
S(K): 自分自身の消費生活の改善提案を行うことができる(課題レポートを作成することができた。) A(優): 自分自身で消費者問題の事例を調査、分析することができる(課題レポートを作成することができた。)	B(良): 授業で紹介した消費者問題の事例について説明することができる(小テストで該当する設問(記述式)に答えることができた) C(可): 各週の講義のC(可)の達成基準の設問を説明することができる(小テストで該当する設問(選択式、用語記入式)に答えることができた)

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	消費者問題とは何か、その現状を知る 消費者問題が生じる原因を理解する 消費者の権利の意味、内容を知る	講義	・消費者の権利を説明することができる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)身近にある飲料のペットボトルに書かれている表示の項目をあげる。	90	主体性、傾聴力、課題発見力
2週 /	表示とは何か、目的、内容を知る 食品の表示の事例を理解する 健康食品、保健機能食品の意味を知る	講義	・製品の表示の目的と内容を説明することができる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)食品添加物の機能と代表的な物質名を調べる。	90	主体性、傾聴力、課題発見力
3週 /	食品添加物の種類を知る 食品添加物の表示について理解する 食品添加物の長所、短所を理解する	講義	・食品添加物の種類と機能を説明することができる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)トレーサビリティ、遺伝子組み換え食品の意味と具体例を調べる。	90	主体性、傾聴力、課題発見力
4週 /	食品の安全性(食品のトレーサビリティ、遺伝子組み換え食品、食品添加物の規制、農薬の規制)について知る	講義	・食品の安全性に関する表示について説明できる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)テキスト第6章を読む／繊維品の取り扱い表示の意味を確認する。	90	主体性、傾聴力、課題発見力
5週 /	医薬品、医療機器、化粧品、電気・ガス用品の安全性について知る 玩具、衣料品、家庭用品、工業用品の安全性について知る	講義	・食品以外の安全性の表示について説明できる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)不当広告、虚偽広告の意味、事例を調べる。	90	主体性、傾聴力、課題発見力
6週 /	製品の表示のあり方を知る 不当広告、虚偽広告の意味を知る	講義	・製品の表示についてレポートを作成する。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)テキスト第7章を読む／契約と約束の違い、契約自由の法則について調べる。	90	主体性、傾聴力、課題発見力
7週 /	契約と約束の違いを知る 契約自由の原則の意味を知る 契約の効力、契約の無効と取消を理解する	講義	・契約と約束の違いを説明ができる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)テキスト巻末資料 94、95 ページを読む／クーリングオフ制度の意味、クーリングオフの行使の仕方を調べる。	90	主体性、傾聴力、課題発見力
8週 /	クーリングオフ制度の意味を理解する クーリングオフができる契約、条件を知る クーリングオフの仕方を理解する	講義	・契約の無効と取消の違いを説明できる。 ・クーリングオフ制度を説明できる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)テキスト第7章を読む／特定商取引法、消費者契約法、割賦販売法の目的と内容を調べる。	90	主体性、傾聴力、課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	特定商取引法、消費者契約法、割賦販売法 消費者被害のチェックポイントについて	講義	・各法律が扱う消費者被害について説明できる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)テキスト第7章を読む／悪質商法の種類、内容を調べる。	90	主体性、傾聴力、課題発見力
10週 /	不当請求、キャッチセールス、通信販売、マルチ商法の実例と対策を知る	講義	・問題商法の特徴について説明できる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)テキスト第9章を読む／多重債務、自己破産の意味を調べる。	90	主体性、傾聴力、課題発見力
11週 /	販売信用、消費者金融の現状を理解する 多重債務、自己破産の意味、防止策を知る	講義	・販売信用、消費者金融の機能と役割について説明できる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)持続可能性、5Rの意味を調べる。	90	主体性、傾聴力、課題発見力
12週 /	地球環境問題の現状を知る 環境にやさしい生活、商品の選択について考え方、現状を理解する	講義	・5Rについて説明できる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)防災備蓄品として備えるべき品目とその目的を調べる。	90	主体性、傾聴力、課題発見力
13週 /	自然災害の現状を知る 消費者における地震などの防災対策の考え方を理解する	講義	・防災備蓄品について説明できる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)テキスト第4、5、14章を読む。	90	主体性、傾聴力、課題発見力
14週 /	行政機関、企業における消費者問題への対応プログラムの現状を知る コンシューマリズム、消費者運動の意味、現状を理解する	講義	・コンシューマリズムについて説明できる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)1～14回の到達レベルC(可)の基準ができるようにする。	90	主体性、傾聴力、課題発見力
15週 /	1～14回で学んだ用語の意味と具体例についての試験を実施する	小テスト	・1～14回の到達レベルC(可)の基準ができる。	(復習)・自分の消費生活を省みて、改善点を考える。 ・消費生活レポートを作成する	90	主体性、傾聴力、課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力